

テーマ：心からの喜びと感謝をもって神様に礼拝を捧げること

※1 テサロニケ 5:16,18

「いつも喜んでいなさい…すべての事について、感謝しなさい。」

※ヨブ 1:21

「私は裸で母の胎から出て来た。また、裸で私はかしこに帰ろう。主は与え、主は取られる。主の御名はほむべきかな。」

※詩篇 9:1

「私は心を尽くして主に感謝します。」

※ピリピ 4:4

「いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います。喜びなさい。」

### 1. 喜びに溢れた礼拝者(1-3)

※マタイ 21:9

「そして、群衆は、イエスの前を行く者も、あとに従う者も、こう言って叫んでいた。「ダビデの子にホサナ。祝福あれ。主の御名によって来られる方に。ホサナ。いと高き所に。」

※ピリピ 4:12-13

「私は、貧しさの中にいる道も知っており、豊かさの中にいる道も知っています。また、飽くことにも飢えることにも、富むことにも乏しいことにも、あらゆる境遇に対処する秘訣を心得ています。私は、私を強くしてくださる方によって、どんなことでもできるのです。」

※ヨハネ 4:23-24

「しかし、真の礼拝者たちが霊とまことによって父を礼拝する時が来ます。今がその時です。父はこのような人々を礼拝者として求めておられるからです。神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません。」

#### ●いつも覚えるべき主の二つの御性質

a) 主が \_\_\_\_\_ であること(3a)

b) 主が\_\_\_\_\_であること(3b)

※1 ペテロ 2:22-25

「キリストは罪を犯したことがなく、その口に何の偽りも見いだされませんでした。ののしられても、ののしり返さず、苦しめられても、おどすことをせず、正しくさばかれる方にお任せになりました。そして自分から十字架の上で、私たちの罪をその身に負われました。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるためです。キリストの打ち傷のゆえに、あなたがたは、いやされたのです。あなたがたは、羊のようにさまよっていましたが、今は、自分のたましいの牧者であり監督者である方のもとに帰ったのです。」

## 2. 感謝に溢れた礼拝者(4-5)

※詩篇 34:8

「主のすばらしさを味わい、これを見つめよ。幸いなことよ。彼に身を避ける者は。」

※マタイ 28:20

「見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」

○まとめ